

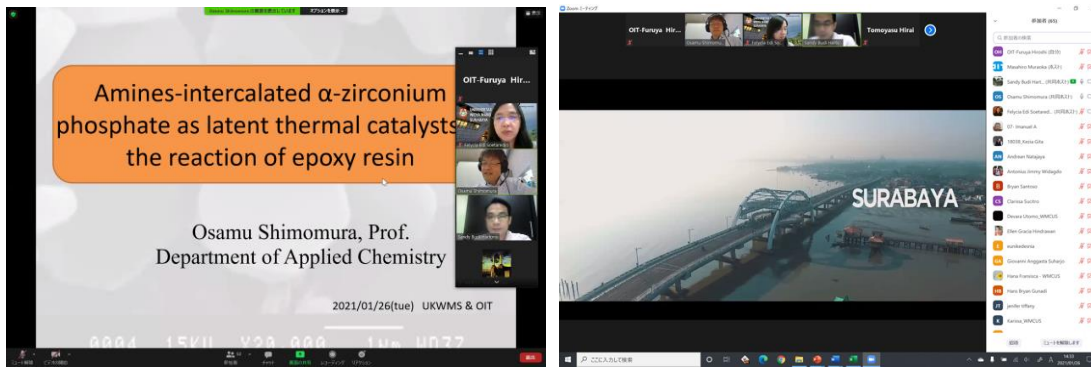
## 応化の学生、web を通じて海外（インドネシア）との 交流を深める！！

### 「大阪工業大学と Widya Mandala Catholic University（インドネシア）とのオンライン交流」

を2021年1月19～28の10日間にわたり行いました。新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかからず、海外に出かけることのできない今日ですが、オンライン交流を通じて活発な国際交流が展開されました。1月19～22日の4日間、本学、村岡教授の“英語”による講義「エンジニアのための有機化学」が行われました。Zoomにより講義を配信し、Google Classroomによる資料配信と課題提出、さらには有機化合物の構造を描く練習のためにGoogle Jamboardという共有ホワイトボードも駆使しました。講義テーマは「有機化合物の分類」から始まり、「有機立体化学の基礎」、「有機反応機構」、さらに「ファインケミカルズ」までの幅広い内容が講義において語られ、Widya Mandala Catholic大学の学生諸君に有機化学の魅力が伝わりました。

1/26～28日の3日間は、本学とWidya Mandala Catholic大学の教員による最先端研究に関する講演会が行われました。下村准教授より「Amines-intercalated  $\alpha$ -zirconium phosphate as latent thermal catalysts in the reaction of epoxy resin」、Sandy Budi Hartono 准教授より「Porous materials for Drug delivery」、平井特任准教授より「Precise synthesis of polymer with well-controlled stereoregularity on the basis of living anionic polymerization and evaluation of its functional properties」、Shella Permatasari Santoso 准教授より「Studies on the performance of bentonite and its composite as phosphate adsorbent and phosphate supplementation for plant」、松田特任講師より「Development of ionic conductors and energy conversion devices」、Maria Yuliana 准教授より「Feasibility study of nanocrystalline cellulose as adsorbent of steryl glucosides from palm-based biodiesel」というタイトルでそれぞれ研究内容が紹介されました。研究内容は専門的であったものの、両学の学生より活発な質問が飛び交いました。

10日間を通じて、有意義な国際交流を行うことができました。双方の学生が今後、益々国際交流を深めていくことが期待されます。次回の国際交流イベントにも乞うご期待！



オンライン講演会の様子